

## 第14回 環境研究シンポジウム

# レジリエントな 社会・国土を創る 環境研究

平成28年11月22日(火)  
12:00~18:00

参加費  
無料

会場

一橋大学 一橋講堂 (学術総合センター内)  
〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号

参加  
登録

<https://www.omc.co.jp/kankyokenkyu/> 事前申込制(先着順)

問合せ先

環境研究機関連絡会 事務局 国立研究開発法人森林総合研究所  
〒305-8572 つくば市松の里1 TEL:029-829-8113 FAX:029-874-8507



【アクセス】  
東京メトロ半蔵門線/都営地下鉄三田線・新宿線  
「神保町」A9出口から徒歩3分  
東京メトロ東西線「竹橋」1b出口から徒歩4分

## 講演 <12:45~17:35>

- 1 極端な気象現象の確率的気候変化予測  
気象庁気象研究所 気候研究部 主任研究官 水田 亮
- 2 気候変動によるリスクと適応策  
国立研究開発法人国立環境研究所 社会環境システム研究センター 地域環境影響評価研究室 室長 脇岡 靖明
- 3 気候変化に強い農業を目指して  
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター 気候変動対応研究領域 温暖化適応策ユニット長 中川 博視
- 4 土砂供給による河床の変化の予測(置土を事例とした予測方法の紹介)  
国立研究開発法人土木研究所 つくば中央研究所 水環境研究グループ 自然共生研究センター 主任研究員 宮川 幸雄
- 5 コンクリート内部環境のモニタリング  
国立研究開発法人物質・材料研究機構 構造材料研究拠点 耐食鋼グループ グループリーダー 西村 俊弥
- 6 長期地形観測から見る砂浜の未来  
国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 沿岸環境研究領域 主任研究官 伴野 雅之
- 7 製鋼スラグと浚渫土を活用したアマモ場創生技術の評価  
国立研究開発法人産業技術総合研究所 環境管理研究部門 海洋環境動態評価研究グループ 研究員 塚崎 あゆみ
- 8 西表島崎山湾・網取湾自然環境保全地域における沿岸海洋生態系と物理環境との関係について  
国立研究開発法人防災科学技術研究所 水・土砂防災研究部門 副部門長(総括主任研究員) 下川 信也
- 9 震災後の二枚貝養殖業の復興に向けて:安定生産のための漁場利用のあり方  
国立研究開発法人水産研究・教育機構 東北水産研究所 沿岸漁業資源研究センター長 神山 孝史
- 10 災害に対するリスク評価と対策技術  
国土交通省国土技術政策総合研究所 河川研究部 水環境研究官 松尾 和巳
- 11 頻発する土砂災害とどう向き合うか  
国立大学法人筑波大学 生命環境系 准教授 堀田 紀文
- 12 平成28年(2016年)熊本地震で発生した山地災害  
国立研究開発法人森林総合研究所 九州支所 山地防災研究グループ長 黒川 潮
- 13 住宅・建築物におけるライフライン途絶への対応技術  
国立研究開発法人建築研究所 環境研究グループ長 山海 敏弘

## ポスター発表(約100題) <12:00~12:40 / 17:35~18:00>

主催: 環境研究機関連絡会

国立研究開発法人防災科学技術研究所 国立研究開発法人物質・材料研究機構 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター 国立研究開発法人森林総合研究所  
国立研究開発法人水産研究・教育機構 国立研究開発法人産業技術総合研究所 国土交通省気象庁気象研究所 国土交通省国土技術政策総合研究所 国立研究開発法人建築研究所  
国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 国立研究開発法人土木研究所 国立研究開発法人国立環境研究所 国立大学法人筑波大学